

# 第38回海洋開発シンポジウム

## 2013年6月27日[木]–28日[金]

1. 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
2. 後援：国土交通省中国地方整備局
3. 開催期日：2013年6月27日（木）～28日（金）
4. 会場：米子コンベンションセンターBIG SHIP  
（鳥取県米子市末広町294）JR米子駅から徒歩5分  
<http://www.bigship.or.jp/>
5. 参加方法：参加無料、自由参加（事前の申込は不要です。当日会場へ直接ご来場ください。）
6. 講演集：講演集（CD-ROM媒体）は、委員会ホームページにて事前販売および当日販売いたします。  
価格：2,000円（消費税、送料込）
7. 発表時間：1論文15分（発表10分、討議5分）  
特別シンポジウム：「各地域における津波対応および防災計画の現状、および今後の方策」
- (1) 日時：6月26日（水）17:00～18:40（100分）（海洋開発シンポジウム開催前日）
- (2) 場所：米子コンベンションセンター（海洋開発シンポジウムと同一会場）
- (3) 参加費：無料
- (4) 話題提供者：松見吉晴、伊福誠、水谷法美、橋本典明、柴山知也、木村克俊
8. 懇親会：(1) 日時：6月27日（木）18:00～  
(2) 場所：米子全日空ホテル  
(3) 参加費・受付：7,000円、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
9. 見学会：(1) 日時：6月28日（金）午前中  
(2) コース：境港～皆生海岸  
(3) 参加費・受付：無料、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。  
(4) 定員：36名程度
- ※プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会ホームページをご覧ください。（<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/>）  
※本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。  
※問合せ先：土木学会事務局 研究事業課（担当：岩西）  
TEL03-3355-3559

### 1日目：2013年6月27日（木）

時間	第1会場 (国際会議室)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (6階 第7会議室)	第4会場 (5階 第4会議室)	第5会場 (5階 第6会議室)
9:00 - 9:05	開会挨拶				
9:05 - 10:25	津波防災	津波と構造物配置	物質輸送と地下水	海岸侵食	干潟 (1)
10:35 - 11:55	津波と船舶	津波の変形と波力	水質と生物生息場	海浜変形	干潟 (2)
11:55 - 13:00	昼休憩				
13:00 - 14:20	海洋エネルギー (1)	津波と橋	海洋の事業・管理	礫海岸とサンゴ洲島	藻場
14:30 - 15:50	海洋エネルギー (2)	津波と地盤	航行・航路	構造物と地形変化	海域の生態系
16:00 - 17:20	特別セッションS-1 海洋再生可能エネルギー利用技術	特別セッションS-2 東日本大震災による海洋環境の変化			

### 2日目：2013年6月28日（金）

時間	第1会場 (国際会議室)	第2会場 (小ホール)	第3会場 (6階 第7会議室)	第4会場 (5階 第4会議室)	第5会場 (5階 第6会議室)
9:00 - 10:20	地震振動と液状化	津波力と構造物	波浪と長周期波	底質環境 (1)	海洋の調査手法
10:30 - 12:05	海洋施設の施工・維持管理	津波伝播と振動	越波	底質環境 (2)	漂流物
12:05 - 13:05	昼休憩				
13:05 - 14:25	消波構造物	粘り強い港湾構造物	津波数値計算	海底地盤の施工法	波浪推算
14:35 - 16:10	海洋施設の設計	津波災害	数値計算	高潮	海域の環境
16:15 - 16:25	閉会挨拶				

### 【発表者のみなさまへ】

- (1) 発表時間は、1論文15分（発表10分、討議5分）です。 ※2011年度から変更になっていますので、ご注意ください。
- (2) 発表方法は、会場に用意されたパソコンとプロジェクタによるプレゼンテーションのみとします。（OHP等不可）
- (3) プレゼンテーションソフトは、「Microsoft Power Point2010」です。
- (4) パソコン再生の互換性が低い動画ファイル（\*.mpg, DivX）等の使用は控えて下さい。再生されない場合があります。
- (5) 発表前の休憩時間に、会場に設置されたパソコンに、USBメモリ（各自持参）を使って、発表用ファイルをコピーして下さい。（CD-R, MO等不可）
- 【注意事項】二日目の各会場第一セッションは、開場からセッション開始まで時間が短いので、出来るだけ一日目の休憩時間や昼食時間に発表ファイルをコピーしてください。
- (6) 各自持参のUSBメモリは、ご自身のパソコンで【ウィルスチェック】を事前に行ってください。



CPD 認定プログラム  
JSCE13-0185 14 単位

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第1会場 (国際会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/27 (木)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長						
	9:05 ~ 10:25	第1会場	津波防災  高木泰士 東京工業大学	1	中畑摩耶	2011年東北地方太平洋沖地震における住民避難行動に関する現地調査 一和歌山県串本町を対象として	小笠原敏記 中畑摩耶 松林由里子 堺茂樹
				2	鷺見浩一	市町村を対象とした東北地方太平洋沖地震における津波対策に関するアンケート調査	鷺見浩一 大瀧啓介 武村武 落合美
				3	西畑剛	津波レベルの違いによる避難時の人的被害予測に関する研究	安野浩一 森屋隆一 西畑剛 間瀬肇 森信人
				4	土井博	東日本大震災時の港湾での情報共有に関する実態と重要性の検証	土井博
				U1	高橋俊彦	津波氾濫シミュレーションの水理模型実験による検証	高橋俊彦 福山貴子 新保裕美 秋山義信 田中昌宏 池谷毅
	休憩 10分						
	10:35 ~ 11:55	第1会場	津波と船舶  森屋隆一 五洋建設(株)	5	笹健児	データ分析から見た船舶運航における波浪予測の現状と課題について	笹健児 寺田大介 塩谷茂明 若林伸和 大澤輝夫
				6	山瀬晴義	実測接岸速度の特性と船舶接岸用防舷材設計への適用	山瀬晴義 上田茂 岡田達彦 荒井章之 清水謙太郎
				7	岡本修	東日本大震災時の港内船舶の被害実態	岡本修
				8	増田光弘	岸壁に係留された船舶の津波防災・減災対策に関する研究 一増しめやいによる津波対策について	増田光弘 増田光一 南清和 居駒知樹
				9	増田光一	浮桟橋による船舶の津波防災・減災対策に関する基礎的研究	増田光一 増田光弘 居駒知樹 村田一城 南清和
	休憩 65分						
	13:00 ~ 14:20	第1会場	海洋エネルギー(1)  羽田野梨枝 山口大学	10	丸山利幸	北海道沿岸における冬季の波浪エネルギー貯蔵量評価	猿渡亜由未 丸山利幸
11				岡本英久	波動ポンプを活用した波エネルギーの効率的な抽出に関する研究	村上啓介 岡本英久 真木大介	
12				武田将英	波力発電装置波浪実験に関する大規模模型の製作過程	武田将英 有川太郎 窪田幸一 下迫健一郎 五十嵐学 加藤大 金谷泰邦	
13				小牧裕幸	海流発電適地選定のためのトカラ海峡周辺海域における黒潮調査	小牧裕幸 山城敏 城本一義 仁科文子 中村啓彦 広瀬直毅	
14				佐々木慎	洋上風力発電施設の施工管理について	島谷学 力石大彦 佐々木慎 中井崇齊 山口祐一郎	
休憩 10分							
14:30 ~ 15:50	第1会場	海洋エネルギー(2)  中村孝幸 愛媛大学	15	大森光	OWC型波エネルギー変換装置のプロジェクティングウォールが一次変換性能に与える効果に関する研究	居駒知樹 増田光一 大森光 大澤弘敬 宮崎剛 木原一植	
			16	田中翔一	水柱振動型波力発電の効率化に関する基礎的検討	田中翔一 野戸秀晶 武若聡	
			17	森本陽介	下部ヒンジ振り子型波力発電装置の開発とその性能評価	森本陽介 水谷法美	
			U2	比江島慎二	倒立振り子の力振動を用いた発電のための基礎的実験	比江島慎二 岡圭人 林健一 井上浩男	
			18	中澤那世留	可変ピッチ機構の導入による広範な流速域での垂直軸型水車の高性能化に関する研究	居駒知樹 増田光一 中澤那世留 仲村泰徳 林昌幸	
休憩 10分							
16:00 ~ 17:20	第1会場	特別セッション S-1  海洋再生可能エネルギー利用 技術 トヨタ 米山治男(株) 港湾空港技術研究所 コトブキ 下迫健一郎(株) 港湾空港技術研究所	S1-1	鷺尾朝昭	洋上風力発電の実用化をめざした北九州市沖洋上風況観測塔による気象・海象観測	鷺尾朝昭 坂本登 中嶋周作 川口浩二 青木功 永井紀彦 仲井圭二	
			S1-2	河合弘泰	NOWPHAS/GPS波浪計と沿岸波浪計の観測値に基づく日本沿岸の波パワー	河合弘泰 川口浩二 関克己 猪股聡	
			S1-3	阿部洋士	潮流発電の効率化のための新型流況制御板に関する研究	中村孝幸 阿部洋士 フィルマン・フセイン 井内國光	

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第1会場 (国際会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/28 (金)	9:00 ~ 10:20	第1会場	地震震動と液状化  小竹康夫 東洋建設(株)	19	後藤佑介	地震動波形と継続時間の双方を考慮した新たな液状化予測判定法とその検証	佐々真志 山崎浩之 後藤佑介
				20	小濱英司	2011年東北地方太平洋沖地震における規模およびコンテナクレーンの地震観測	小濱英司 菅野高弘 竹信正真 宮田正史 野津厚
				21	大石雅彦	ニューマチックケーソン式横桟橋の耐震性能照査法に関する研究	大石雅彦 長尾毅 大内正敬 佐藤祐輔 清宮理
				22	柴吉弥	スーパーアスベリティモデルを経験的サイト増幅・位相特性を考慮した2011年東北地方太平洋沖地震における南三陸町志津川での強震動の評価	柴吉弥 秋山充良 高橋良和 後藤浩之 野津厚 幸左賢二
				23	大矢陽介	地震動評価指標としてPSI値に着目した防波堤の横型振動実験	大矢陽介 小濱英司 野津厚 菅野高弘
	休憩 10分						
	10:30 ~ 12:05	第1会場	海洋施設の施工・維持管理  西田孝弘 東京工業大学	24	太田隆夫	高波の発生回数を考慮した消波工のライフサイクルコスト算定	太田隆夫 平山隆幸 安田誠宏 辻尾大樹 松見吉晴 間瀬肇
				25	尾崎亮太	鋼管杭腐食に伴う破壊確率の上昇を考慮した横型のライフサイクルシナリオ評価	尾崎亮太 横田弘 橋本勝文 古谷宏一
				26	熊谷健蔵	ライフサイクルコスト最小化の観点による既設防波堤の最適な復旧水準に関する研究	長尾毅 辻尾大樹 熊谷健蔵
				27	兵頭武志	空間統計学を利用した港湾コンクリート構造物の効率的な維持管理に関する研究	兵頭武志 北重新一郎 本城勇介 大竹雄
				28	長尾毅	汚濁防止膜カーテン強度の時変化評価法に関する研究	長尾毅 島田伊浩 三吉正英 小坂成之 力竹正広 東博之
	29	島田伊浩	汚濁防止膜の経過月数による強度劣化に関する実海域実験	島田伊浩 新井洋一 長尾毅 三吉正英 山本直文 岡本直 石坂修 須藤彰二			
	休憩 60分						
	13:05 ~ 14:25	第1会場	消波構造物  久保田真一 (株)不動テトラ	30	伊井洋和	ゴムマットを有するコンクリートブロック多段積み模型の耐震性に関する振動実験	伊井洋和 水田洋司 浅田一郎 佐々木公彦 藤田浩一 菅付敏一 高橋洋一
31				松下敏實	偶発波浪に対するカウンターウェイトブロックの適用に関する実験的研究	松下敏實 平石哲也 川田達也 間瀬肇	
32				清水利浩	外洋に面した消波ブロック被覆護岸の改良形式に関する水理模型実験	永井栄 泉田裕 清水利浩 小林邦夫 永松宏一	
33				久保田謙作	観測未知海岸高波域における波浪対策消波ブロックの被災度現地調査と安定数算定式を用いた設計評価手法の提案	久保田謙作 高橋祐 高橋隆男 南雲一也 伊藤正喜	
34	大東秀光	水理模型実験および数値計算による防波堤マウンド法先部被覆ブロックの被災メカニズムの検討	大東秀光 大江一也				
休憩 10分							
14:35 ~ 16:10	第1会場	海洋施設の設計  織田幸伸 大成建設(株)	35	木村晃	波保特性を考慮した混成堤の経済動量の推定	木村晃 大田隆夫	
			36	團村肇	液状化を考慮した岸壁残留変形量の簡易評価法の高度化に関する研究	團村肇 宮田正史 野津厚 若井洋 浅井茂樹	
			37	古谷宏一	無筋コンクリート海岸保全施設の現地調査結果の統計解析に基づく検討	古谷宏一 横田弘 橋本勝文 加藤純夫 小松周平	
			38	鍵本慎太郎	単一排水型防波堤と従来型防波堤の波浪制御機能に関する研究	中村孝幸 鍵本慎太郎 フィルマン・フセイン	
			39	渡辺国広	サンドバックの変形および波浪作用時に袋材に働く張力の特性	渡辺国広 野口賢二 諏訪義雄 関口陽高 嶋田宏 江島敬三 石河雅典 永澤肇	
			40	島谷学	海底設置型海流流入防止構造物に関する実験的研究	古牧大樹 島谷学 下園武範 岡安章夫	

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第2会場(小ホール)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名
6/27(木)						
9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長						
9:05 ~ 10:25	第2会場	津波と構造物配置  加藤史訓 国土交通省国土技術政策総合 研究所	41	浅川典敬	2011年東北地方太平洋沖地震における漁港海岸保全施設の被災状況	浅川典敬 中村隆 加藤史訓 早川光 佐藤藤弘 見上敏文 小玉篤 鈴木彰
			42	佐伯公康	東北地方太平洋沖地震における地震動による漁港施設の被害の事後推定	佐伯公康 佐藤秀政 西本敦範 藤井照久 梅津健夫 浅川典敬 三上信雄
			43	中島彰	津波作用時に沿岸構造物の配置が岸側の構造物に与える影響に関する研究	中村友昭 中島彰 水谷法美
			44	松本和記	石油タンクおよびパイプラインの配置による津波液力の変化に関する実験的研究	松本和記 泉宮尊司 石橋修彦
			45	柴木秀之	防波堤の津波防護能力と海水交換能力に関する解析	阿部弘太郎 白木喜章 柴木秀之 村上和男
休憩 10分						
10:35 ~ 11:55	第2会場	津波の変形と波力  水谷法美 名古屋大学	46	秋山義徳	盛土上の防波施設に作用する津波波圧	秋山義徳 岩前伸幸 池谷毅
			47	石河雅典	津波越流時の海岸堤防への作用外力と構造形式との関連性に関する数値的考察	石河雅典 上月康則 山中亮一 大久保陽介
			48	小竹康夫	防護壁越流時の津波の特性について	小竹康夫 松村章子 荒木進歩
			49	榎田真也	防波欄による津波浸水時の低減効果及び波力に関する実験的研究	榎田真也 齋藤武久 吉路裕子 中口彰人 石田啓
			50	林建二郎	柱状物体に作用する潮流上流の流体力評価	林建二郎
休憩 10分						
13:00 ~ 14:20	第2会場	津波と橋  神山勉 (財)電力中央研究所	51	澤祐太郎	橋桁への作用津波力と橋桁の流出限界に関する実験的研究	中村友昭 澤祐太郎 Xingyue REN 水谷法美
			52	荒木進歩	凹型断面の橋桁に作用する流体力特性	荒木進歩 北川俊一郎
			53	Hartana	2-Phase Flow Analysis of Tsunami Forces Acting on Bridge Structures	Hartana Keisuke Murakami Yohei Yamaguchi Daisuke Maki
			54	直田祥	東北地方太平洋沖地震津波による矢の浦水管橋の被害に関する数値解析	直田祥 米山望 鎌田泰子
			55	Xingyue REN	津波による桁の移動に与える津波力低減対策の影響に関する研究	中村友昭 水谷法美 Xingyue REN
休憩 10分						
14:30 ~ 15:50	第2会場	津波と地盤  藤井直樹 東電設計(株)	56	高橋英紀	遠心力場における防波堤基礎地盤に対する津波浸透実験	高橋英紀 佐々真志 森川嘉之 高野大樹 丸山憲治
			57	丸山憲治	津波による浸透作用下の防波堤基礎マウンドの支持力発現特性	高橋英紀 佐々真志 森川嘉之 高野大樹 丸山憲治
			58	稲垣茂樹	防波堤内側マウンドの津波による越流洗掘に関する検討	東山和博 長谷川巖 稲垣茂樹
			59	佐々真志	津波越流-浸透連成遠心実験システムの開発とマウンド洗掘への適用	佐々真志 高橋英紀 森川嘉之 高野大樹 丸山憲治
			60	安藤康平	津波の越流による混成ゲーン岸側での水圧の低下機構に関する研究	中村友昭 安藤康平 水谷法美 小竹康夫
休憩 10分						
16:00 ~ 17:20	第2会場	特別セッション S-2  東日本大震災による海洋環境 の変化 トシヨシ 二瓶泰雄(東京理科大学) コウイロウ 下道健一郎(後)津波空港技術研究 所)	S2-1	村上和仁	津波による海浜公園池における生態系構造の変化	村上和仁 吾妻映季 中村智明
			S2-2	日比野忠史	不安定な有機物を含んだガレキ泥の再資源化手法の確立	日比野忠史 高橋誠嗣 福井善吾 二瓶昭弘
			S2-3	岡田知也	宮古湾における津波からのアマモ場の視点での底質状況	岡田知也 吉川憲太

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第2会場(小ホール)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名
6/28(金)						
9:00 ~ 10:20	第2会場	津波力と構造物  松山昌史 (財)電力中央研究所	61	木村雄一郎	海底に倒伏したフラップゲート式可動防波堤の岸係留力の検証	木村雄一郎 仲保京一 板垣暁 森井俊明
			62	Nguyen Xuan DAO	Sensitivity Analysis of Shore-parallel Canal for Tsunami Wave Energy Reduction	Nguyen Xuan DAO Mohammad Baqas ADITYANAN Hitoshi TANAKA
			63	Chathura Manawasekara	Effect of three-dimensionality on tsunami force acting on a structure	Chathura Manawasekara 青木悟 李光浩 水谷法美 平川信也 芦澤哲
			64	菊雅美	建築物に作用する津波力の低減対策に関する研究	菊雅美 中村友昭 水谷法美 平川信也 芦澤哲
			65	有光剛	背後に急斜面を有する陸上地形に設置された矩形構造物に作用する津波波圧特性	有光剛 大江一也 川崎浩司
休憩 10分						
10:30 ~ 12:05	第2会場	津波伝播と振動  村上啓介 宮崎大学	66	井上剛	津波と高潮の同時発生確率に関する一考察	井上剛 藤田尚哉 松山昌史 田中良仁
			67	泉宮尊司	領域区分によるGutenberg-Richter則に基づいた地震津波発生確率の推定法	泉宮尊司 内山翔太 尾島洋祐
			68	小園裕司	東京湾内における東北津波の伝播特性および計算条件の違いによる計算精度の検討	小園裕司 野島和也 桜庭雅明
			69	本間真平	大船渡湾における2011年東北地震津波の動画解析	本間真平 佐々木洋 鈴木崇之
			70	門田純一	津波の伝播に伴う日生港の共振現象	門田純一 小貫修平 和田達太郎 伊福誠
			71	阿部孝章	寒冷地の半閉鎖性水域における津波振動と結氷破壊特性に関する研究	阿部孝章 吉川泰弘 佐藤好茂 伊藤丹
休憩 60分						
13:05 ~ 14:25	第2会場	粘り強い港湾構造物  木村俊俊 室蘭工業大学	72	澤田豊	防波堤頭部の津波に対する粘り強い構造物の提案	澤田豊 三宅達夫 角田猛子 鶴ヶ崎和博 前田健一 今瀬達也
			73	岸田哲哉	摩擦増大用アスファルトマットによる防波堤の津波に対する安定性に関する実験	岸田哲哉 星野太 田崎邦男 岩前伸幸 秋山義徳 池谷毅
			74	辻尾大樹	設定を超える津波に対するケーソン防波堤の補強効果に関する実験的研究	辻尾大樹 安田誠宏 間瀬肇 森信人 前田恭兵 山口祐太
			75	三井順	袋型根固め材を用いた津波に対して効果的な防波堤マウンド被覆方法の検討	三井順 松本朗 半沢稔 小川裕夫 篠村幸廣 尾池宜佳
			76	安野浩一朗	低頻度偶発波浪を想定した混成堤の大規模変形量解析	安野浩一朗 森屋隆一 間瀬肇 森信人
休憩 10分						
14:35 ~ 16:10	第2会場	津波災害  龍見浩一 日本大学	77	阿部成紀	日本海東縁部より石川県能登半島に襲来した既往津波の伝播特性に関する基礎的研究	由田政年 阿部成紀
			78	大河原靖徳	沿岸域の建築物における津波荷重特性に関する研究	増田光一 大河原靖徳 相田康洋 居駒知樹
			79	根笹裕太	遡上津波による非固定陸上構造物周辺の洗掘現象への流体・構造・地形変化連成数値計算モデルの適用	中村友昭 根笹裕太 水谷法美
			80	木岡信治	海水群を伴った津波の市街地浸害に関する一考察	木岡信治 森昌也 遠藤隆 竹内真弘 渡部靖憲
			81	仲座栄三	堆積物から推定される琉球諸島における歴史・先史津波について	仲座栄三 入部綱清 徳久宇氏 宮里直樹 稲垣賢人 Rusla Savou
U3	中村友昭	渦と浸透流出の影響を考慮した灌漑計算手法と遡上津波による陸上構造物周辺の洗掘現象への適用に関する研究	中村友昭 水谷法美			
16:15~16:25 第一会場 開会挨拶 幹事長						

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第3会場(6階 第7会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名
6/27(木)						
9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長						
9:05 ~ 10:25	第3会場	物質輸送と地下水 中山恵介 北見工業大学	82	足立一美	管理型廃棄物海面処分場の維持管理の実態に関する全国調査および運水性能の評価	足立一美
			83	柳川竜一	栄養塩供給手法としての海底耕耘による海底土粒子分布の現地観測および拡散範囲推定	柳川竜一 中西敬 高瀬博文 中谷明泰 西田愛実
			84	吾妻咲季	海浜公園池における地域未利用資源を活用した底質改善による栄養塩制御	吾妻咲季 村上和仁 五明美智男 天野佳正
			85	加茂崇	海岸湧出地下水の研究ー鹿児島県枕浦海岸潮間帯から湧出する地下水ー	加茂崇 西隆一郎 鶴成悦久 黒瀬久美子
			86	西隆一郎	砂質性海浜に流入する淡水量の推定ー鹿児島県枕浦を例にー	加茂崇 西隆一郎 鶴成悦久 須田有輔 早川康博 大富潤
休憩 10分						
10:35 ~ 11:55	第3会場	水質と生物生態場 佐々木洋 東京大学	87	作野裕司	汽水化直後の湖山池湖水の分光反射率特性と水質との関係	作野裕司 島山恵介 宮本康 初田亜希子 森明寛 九尾貴弘
			88	渡邊義徳	潮位変動の影響を補正し構築したHSIモデルによる環境評価手法の提案	渡邊義徳 市瀬友啓 吉林将 島田広昭
			89	大原啓史	港湾内に設置した員殻を使用した水質改善機の機能の定量化	大原啓史 加村聡 藤澤真也 井上弘之 齋藤達昭 田中丈裕 田原美
			90	穴口裕司	員殻基質周辺の流れに関する研究	穴口裕司 片山真基 田中丈裕 永松公明 大久保賢治
			91	小林薫	ホタテ員殻を再利用したキャビラリーバリアのフィールド実験による限界長の評価	小林薫 松元和伸 森井俊広 井上光弘
休憩 6分						
13:00 ~ 14:20	第3会場	海洋の事業・管理 長塚毅 神戸大学	92	白石悟	港湾施設における使用電力量とその変動特性に関する分析事例	白石悟 下道健一郎 米山治男 牛山泉 西沢良史 細見雅生 小川路加 永井紀彦
			93	林友弥	港湾整備事業による二酸化炭素排出量の全面推計	林友弥 鈴木武 工藤英輝
			94	新穂修	博多湾における港湾埋立事業と環境保全・創造に向けた事業の両立	新穂修 甲斐由将 吉田恵介 久原明子 山西純 桃崎悦子 井上慶司
			95	市村康	皆生海岸整備事業の利用者による継続的旅行費用法による評価とコンジョイント分析	松原雄平 黒岩正光 渋谷容子 大元誠治 大西季秋 市村康
			96	五明美智男	ネットワーク指標を用いた外洋離島の社会環境分析	五明美智男
休憩 10分						
14:30 ~ 15:50	第3会場	航行・航路 永井紀彦 (株)エコー	97	塩谷茂明	GISを用いた船舶出入港時の航海シミュレーションの研究	柳馨竹 中尾謙太 堀川大介 塩谷茂明 笹健児
			98	高欣佳	AISを用いた大阪湾の船舶航行実態解析に関する研究	高欣佳 塩谷茂明
			99	若林伸和	AISを用いた航行船舶の出入港時の航路遵守に関する調査	塩谷茂明 遊林佑哉 高欣佳 若林伸和
			100	赤倉康寛	超大型コンテナ船・バルクキャリアに対応した航路計画手法の開発	赤倉康寛 安藤和也 安部智久
			101	山城賢	深淺測量データに基づく開門航路の水深変化特性に関する検討	山城賢 横田雅紀 大谷俊衣 眞栄城玄和 橋本典明 春日井康夫 本田一光 井芹絵里奈
休憩 10分						
16:15~16:25 第一会場 開会挨拶 幹事長						

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第3会場(6階 第7会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名
6/28(金)						
9:00 ~ 10:20	第3会場	波浪と長周期波 藤原隆一 東洋建設(株)	102	本田隆英	全国沿岸を対象とした長周期波と有義波の相関関係に関する一考察	本田隆英 羽角華奈子 伊藤一教 織田幸伸
			103	横川陽太郎	高精度方向スペクトル解析による現地波浪の方向スペクトル特性に関する研究	横川陽太郎 泉宮義司 石橋邦彦
			104	仲井圭二	日本沿岸における拘束長周期波の年間出現特性	仲井圭二 橋本典明 額田泰史
			105	池田奈保子	2012年春季に上飯島浦内湾で発生した副振動の特徴について	池田奈保子 吉木裕章 山城敏 浅野敏之 青田倫範 城本一義
			休憩 10分			
10:30 ~ 12:05	第3会場	越波 片山裕之 玉浮建設(株)	106	田中真史	混成堤背面に適用した没水型長周期波対策マウンド構造物の越波に対する安定性	田中真史 松本朗 半沢稔
			107	北村翔一郎	フラ断面を用いた後部パラベト型防波構造物の越波制御特性に関する研究	村上啓介 北村翔一郎 真木大介 竹鼻直人 岩田恭平
			108	佐藤純一郎	静岡海岸に流入する浜川の河口処理と越波対策	前田真志 岩本仁志 佐藤純一郎 宇多高明 石川仁憲 宮原志帆 芹沢真澄
			109	五十嵐雄介	越波伝達率を含む港内波浪観測データの再現計算	平山克也 加島寛章 林健太郎 五十嵐雄介
			110	平野夕慎	海岸鉄道の高波による運行障害事例とその対策に関する検討	平野夕慎 木村克俊 越智聖志 高橋幹夫 浜口正志
U4	菊雅美	不規則越波計算による道路護岸周辺の越波対策工法の選定に関する研究	川崎浩司 菊雅美			
休憩 6分						
13:05 ~ 14:25	第3会場	津波数値計算 浅野敏之 鹿児島大学	111	平山克也	現地津波のソリトン分裂特性に関する実験的検討とその再現計算	加島寛章 平山克也
			112	高杉有輝	CIP法を用いた平面2次元数値モデルによる段波状津波の遡上・氾濫解析	川崎浩司 鈴木一輝 高杉有輝 西浦洋平 有光剛
			113	関本慎浩	数値波動水路を用いた津波解析における減衰・透過境界部での問題とその対策	関本慎浩
			114	宇野宏司	東北地方太平洋沖地震津波の到達による四国沖・瀬戸内海の水塊構造への影響	宇野宏司 中野晋
			115	村上智一	岩手県宮古湾における気象および津波地形変化に影響される流動・密度構造の数値解析	村上智一 川口知格 小笠原敏記
休憩 10分						
14:35 ~ 16:10	第3会場	数値計算 川口浩二 (独)港湾空港技術研究所	116	砂川透吾	粒子法とVOF法を用いた構造物周りの流体解析に関する研究	砂川透吾 辻尾大樹 石河雅典 小笠原敏記
			117	入部綱清	円筒形容器内の水の運動に関する実験と3次元数値計算	入部綱清 與儀友樹 仲塚栄三 花城有人
			118	金山進	A型CIP法との比較に基づくエルミート完全3次元要素による移流計算精度の検証	金山進 奥村弘
			119	木下直貴	東京湾スケールにおけるメッシュアスペクト比と非静水圧効果の解析	中山恵介 新谷哲也 清水健司 木下直貴 岡田知也 佐藤之信 丸谷靖幸 駒井克昭
			120	松浦翔	3次元数値流体力学ツールOpenFOAMにおける自由表面解析手法の妥当性に関する検討	川崎浩司 松浦翔 坂谷大基
			121	奥村弘	GPUによるCADMAS-SURF/3DのCUDA並列化と検討	奥村弘 有川太郎

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第4会場(5階 第4会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/27(木)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長						
	9:05 ~ 10:25	第4会場	海岸侵食 太田隆夫 鳥取大学	122	熊田貴之	茨城県銚田海岸の季節的海岸変動の観測	野志保仁 宇多高明 柴崎誠 熊田貴之 荒之良彰
				123	和田耕作	島根県和木・和木波子海岸の侵食実態	和田耕作 上野博史 宇名手環 高木利光 永田千広 三宅由衣
				124	宇多高明	MauritiusのBlue Bay地区の海岸侵食機構	宇多高明 酒井和也
				125	林健太郎	気候変動に伴う沿岸外力変化が汀線変化へ及ぼす影響評価	林健太郎 志村智也 森信人 間瀬肇
				126	玉井昌宏	淡路島の流域地質と海岸底質に着目した海浜特性について	玉井昌宏 辻本剛三 藤岡佑樹
	休憩 10分						
	10:35 ~ 11:55	第4会場	海浜変形 宮武誠 函館工業高等専門学校	127	小林昭男	房総半島南部の豊岡海岸における人為改変による自然海浜の狭小化	小林昭男 宇多高明 遠藤得利 野志保仁
				128	杉山喜一郎	富士海岸入道樋門の閉塞防止対策の検討	杉山喜一郎 佐藤純一郎 宇多高明 石川仁憲 宮原志帆 芹沢真澄
				129	大木康弘	岬回りの開欠の漂砂に起因する広域海浜変形	宇多高明 大木康弘 三波俊郎 住田哲章
				130	芹沢真澄	三角形の湖の変形・分裂の数値計算	芹沢真澄 宇多高明 三波俊郎 宮原志帆
				131	塩入同	海岸保安林と隣接する砂浜海岸の延長推定に関する研究	塩入同
	休憩 10分						
	13:00 ~ 14:20	第4会場	薩海岸とサング洲島 黒岩正光 鳥取大学	132	大中晋	Tuvalu Funamanu島へのCyclone Bebelによる様々の打ち上げ実態調査	宇多高明 大中晋 三波俊郎
				133	大草佑介	葛塚人工海浜における養浜線の移動堆積状況の実測	小林昭男 宇多高明 野志保仁 遠藤得利 大草佑介
				134	関口隆高	薩海岸における摩耗作用を再現する摩耗促進試験方法の開発	渡辺国広 諏訪義雄 関口隆高 野口賢二 伊藤幸義 高田保彦 岩佐隆広 二階堂竜司
				135	鈴木拓也	サング洲島の地形変化メカニズムに関する研究	鈴木拓也 茅根創 岩塚雄大 片山裕之 関本恒浩 磯部雅彦
136				宮原志帆	サング洲島への離岸堤設置がもたらす海浜変形の予測	宇多高明 芹沢真澄 宮原志帆 三波俊郎	
休憩 10分							
14:30 ~ 15:50	第4会場	構造物と地形変化 鈴木崇之 横浜国立大学	137	黒岩正光	鳥取県浦富海岸における人工リーフ改変による開口部洗掘と港口部堆砂の対策について	黒岩正光 松原雄平 丸毛裕治 中野伸太郎 市村康 間瀬肇	
			138	松井隆佳	福井県浜住海岸の人工リーフの改良策の検討	宇多高明 松井隆佳 尾崎文亮 星上幸良 芹沢真澄 宮原志帆	
			139	袴田代	磯浜の有する優れた護岸根拠機能の現地実測	和泉恵之 伊藤一十三 武笠裕美 宇多高明 酒井和也 石川仁憲 袴田代 菅原健太郎	
			140	五十嵐竜行	蒲原海岸の有脚式離岸堤周辺での地形変化実態	宇多高明 三波俊郎 五十嵐竜行	
			141	山野貴司	杭周辺の局所洗掘に関する現地観測およびその再現実験	山野貴司 藤原隆一 野村浩二 白木孝一	

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第4会場(5階 第4会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/28(金)	9:00 ~ 10:20	第4会場	底質環境(1) 熊谷隆宏 五洋建設(株)	142	三戸勇吾	超軟弱泥が堆積する海域での底質環境改善状況を評価するための調査法	日比野忠史 長津義幸 三戸勇吾 中本健二
				143	御園生敏治	八代海における底質および底生生物分布特性の現状把握	増田龍哉 御園生敏治 田中聖二 高本剣太郎 矢北孝一 滝川清
				144	玉井和久	石灰灰造粒物の海底被覆による中・長期的な海域環境改善効果	玉井和久 小畑健二 芳倉勝治 日比野忠史 首藤啓 山本裕規 三戸勇吾
				145	日高正康	有明海および鳥原湾の海底表層堆積物の鉛直変化	日高正康 西隆一郎 内山正樹 福田隆二
				146	内山正樹	池田湖の底質環境の経年変化	日高正康 西隆一郎 前田広人 内山正樹 福田隆二
	休憩 10分						
	10:30 ~ 12:05	第4会場	底質環境(2) 高木利光 (株)クレアリア	147	山崎宗彦	新潟西港における流入土砂量の算定と数値モデルを用いた沈降特性の再現	山崎宗彦 村上和男
				148	山本浩一	感潮域底泥と海域底泥の沈降速度分布の塩分依存性に関する研究	山本浩一 西村翔太 関根雅彦 今井剛 樋口隆哉 神野有生 濱田孝治 横山勝英
				149	数馬直樹	河口ワンド内植生による微細粒子の捕捉効果	宇野宏司 数馬直樹 辻本剛三 柿木哲哉
				150	鶴岡亮行	西表島網取湾における土砂輸送の粒子追跡解析	村上智一 鶴岡亮行 野口幸太 河野裕美 水谷晃 下川信也 中瀬浩太 吉野純
				151	若佐和美	飽和・不飽和斜面による波打り帯の漂砂移動特性	若佐和美 宮武誠
	152	遠藤得利	近接した人工海浜での沿岸漂砂の卓越方向の反転現象	遠藤得利 小林昭男 宇多高明 野志保仁 片江友美			
	休憩 10分						
	13:05 ~ 14:25	第4会場	海底地盤の施工法 秋山義信 鹿島建設(株)	153	大久保泰宏	浮泥の封じ込めを目的とした固化処理土の配合選定と施工方法	大久保泰宏 新倉博 秋本哲平 海野寿康 井熊孝樹 江森吉洋
				154	山越隆介	カルシア改質土の管中混合工法による海面埋立	山越隆介 赤司有三 中川雅夫 菅野浩樹 田中裕一 辻匠 今村正 渋谷高志
				155	吉田誠	浮き型格子状固化処理工法への疑似三次元解析手法の導入と水平成層地盤への工法適用性	吉田誠 高橋英紀 森川嘉之 深田久 中島秀晃 河田雅也 水谷征治 住谷圭一
				156	秋本哲平	高圧噴射置換工法の開発	秋本哲平 車田佳範
157				新倉博	中間砂層からの吸引水がある場合の真空圧密効果に関する実験的研究	新倉博 宮本健児 渡部要一	
休憩 10分							
14:35 ~ 16:10	第4会場	高潮 権倉雅明 日本工営(株)	158	松崎義孝	ハリケーン・サンディによる米国東岸高潮災害の特徴	松崎義孝 高橋重雄 伴野雅之 高山知司 合田和弘	
			159	三上貴仁	2012年ハリケーン・サンディによる高潮災害のニューヨークにおける現地調査に基づく臨海都市域の浸水災害と被災実態に関する考察	三上貴仁 柴山知也 Miguel Esteban	
			160	高木泰士	メコンデルタ都市の洪水の研究ー潮汐と海面上昇の影響ー	高木泰士 Tran Van Ty Nguyen Danh Thao Miguel Esteban 高橋勇人	
			161	星野さや香	東京湾における高潮被災予測と沿岸域防護手法の提案	Miguel Esteban 高木泰士 三上貴仁 高島知之	
			162	島田剛気	有明海湾奥部における高潮の増幅特性について	田辺智子 山城賢 島田剛気 横田雅紀 木梨行宏 橋本典明	
163	鈴木勝之	数値波動水槽を用いた越流現象の特性解析	鈴木武 柴木秀之 鈴木勝之				

16:15~16:25 第一会場 閉会挨拶 幹事長

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第5会場(5階 第6会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/27(木)							
9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長							
9:05 ~ 10:25	第5会場	干潟(1)	宇野宏司 神戸市立工業高等専門学校	164	小田優子	シンチロメータを用いた都市干潟における夏季の顕熱フラックスの変動特性	小田優子 伴内祐太 番場秀介 高岡大晃 仁平学 矢内栄二
				165	徳永貴久	有明海浜西部の干潟縁辺域におけるDO経年変動特性	徳永貴久 田井明 木元克則
				166	中本健二	地下水が遮断された河口干潟でのアサリ育成場の構築	藤原哲宏 中本健二 日比野忠史 齊藤直
				167	竹山佳奈	運河域の干潟上に造成したタイドプールの生物生産効果	竹山佳奈 木村賢史 上村了美 吉田潤 中瀬浩太 古川憲太 鎌田弘行
				168	趙容桓	粘性力の影響を考慮した漂砂計算手法の提案と浅場の地形変化への適用	中村友昭 趙容桓 水谷法美 李光浩
休憩 10分							
10:35 ~ 11:55	第5会場	干潟(2)	日比野忠史 広島大学	169	宮崎哲史	海域における鉄鋼スラグ製成からのアルカリ溶出に関する大規模水補実験	宮崎哲史 有倉宏史 水谷聡 高橋克則 木曾英法 平井直樹 武田将英 倉原義之介
				170	山田耕一	軟弱地盤上のカルシア改良土を用いた干潟湛堤に関する実験と考察	山田耕一 辻匠 渡部要一 水谷崇亮 森川薫之 鶴岡亮行
				171	熊谷隆宏	転炉系製鋼スラグを有効利用する人工干潟および弾塑性FEM解析に基づく施工管理方法について	熊谷隆宏 高得真 田中裕一 川島浩治 兼松秀臣
				172	高得真	浚渫土圧入による人工干潟修復方法の実規模実験	高得真 杉原広晃 土田孝 熊谷隆宏 山田耕一
				173	鶴ヶ崎和博	人工干潟における粘性土袋詰め湛堤の安定性に関する研究	鶴ヶ崎和博 澤田豊 角田猛子 菱沼由美子 土田孝
休憩 6分							
13:00 ~ 14:20	第5会場	藻場	村上和男 東京都市大学	174	越川義功	石灰灰造粒物を用いた生育基盤におけるアマモ場の形成過程と維持機構	越川義功 日比野忠史 中下慎也 吉岡一郎 中本健二 山本克則
				175	片倉徳男	垂熱帯の離島におけるサンゴ、海草移植技術の開発と実施適用	片倉徳男 高山百合子 住廣隆夫 廣島英樹 岩田至
				176	亀山剛史	藻場造成構造物の海底設置時における安定性向上技術	亀山剛史 山地功二 細川恭平 角遠弘文 松山哲也 末永慶寛
				177	宮里聡一	対馬沿岸における海洋保護区設定に向けた水生生物の生息地の地形的特徴と現地観測	宮里聡一 清野聡子 田井明 多田彰秀 釜山直樹 木村幹子
				178	佐藤仁	コンブ藻場の維持回復を目的とした地域協働型の磯焼け対策の事業化	佐藤仁 山本潤 岡元節雄 工藤博文 今林弘 奥金崎清人 渡辺航希 山下俊彦
休憩 10分							
14:30 ~ 15:50	第5会場	海域の生態系	中瀬浩太 玉洋建設(株)	179	高山百合子	アラビア湾南部の島周辺におけるサンゴ卵-幼生の輸送に関する数値計算によるケーススタディ	高山百合子 片倉徳男 伊藤一教 住廣隆夫 廣島英樹
				180	大塚文和	東京湾におけるアサリ浮遊幼生の鉛直移動モデルの構築について	大塚文和 川西利昌 増田光一
				181	東和之	生態系エンジニアとしてのホソウミナリの役割	東和之 大田直友 河井崇 山本龍兵 橋本温 石田達憲 山中亮一 上月康則
				182	吉田潤	沿岸域における指標生物(マハゼ)の群集動態解析手法の試行	吉田潤 古川憲太 岡田知也 上村了美
				183	林田健志	北方海域に適用する低次生態系モデルのための生物バロメータの取得	林田健志 山本潤 大橋正臣 河合浩 坂本和佳 村上俊哉 工藤勲
休憩 10分							
16:15~16:25 第一会場 閉会挨拶 幹事長							

「第38回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム  
第5会場(5階 第6会議室)

日	時間	会場	セッション名 座長	発表者名	論文名	著者名	
6/28(金)							
9:00 ~ 10:20	第5会場	海洋の調査手法	小田優子 千葉工業大学	184	鶴成悦久	GPS 魚群探知機による極浅海域を対象とした調査手法に関する研究	鶴成悦久 西隆一郎 加茂崇 立山芳輝 浜本麦 林健太郎
				185	白井一洋	スマートフォンを活用した海象情報のリアルタイム収集システムの試作	藤田勇 松崎義孝 白井一洋
				186	関克己	GPS波浪計による沖合の方向スペクトル推定手法の検討	関克己 河合弘泰 川口浩二 猪股勉 橋本典明
				187	田中龍晃	ハンディGPSを用いた海岸地形測量法の開発	田中龍晃 西隆一郎 長山昭夫
				188	大西健二	東京港の海底面判読に関する一考察	森洋 林健次 宇都宮好博 大西健二
休憩 10分							
10:30 ~ 12:05	第5会場	漂流物	大塚要彦 北日本港湾コンサルタント(株)	189	中村友昭	海上を浮遊するコンテナの風による漂流挙動に関する数値解析	中村友昭 水谷法美
				190	上久保祐志	八代湾における浮遊ゴミの漂流特性	上久保祐志 滝川清 増田龍哉 荒川晃 中村秀徳
				191	藤田勇	水ジェットによる浮遊油の漂流制御に関する実験と解析	藤田勇 松崎義孝 斎藤英治 北原厚生
				192	嶋田陽一	ランダムウォークを用いた漂流漁船挙動シミュレーションの試み-風圧係数の感度実験	嶋田陽一
				193	加藤一行	多層性平坦氷と垂直構造物のエネルギー制限型相互作用による水荷重の算定法	加藤一行
				194	竹内貴弘	圧縮破壊下における海水のフラクタル特性に関する室内試験	竹内貴弘 木岡信治 成田恭一
休憩 6分							
13:05 ~ 14:25	第5会場	波浪推算	伊藤一教 大成建設(株)	195	畑田佳男	東京湾および伊勢湾における1911~2005年の巨大台風時最大波高の空間分布特性	山口正隆 畑田佳男 野中浩一 日野幹雄
				196	日野幹雄	観測風資料に基づく内海・内湾の波高推算資料の相対的精度評価	山口正隆 野中浩一 畑田佳男 日野幹雄
				198	森谷拓実	海洋短波レーダー観測結果を用いた潮流推算と表層流の平面分布特性の把握	森谷拓実 村上和男 大貫貴士
				199	田井明	沿岸海洋における水温成層下の乱流エネルギー散逸率の測定	田井明 田中香 齋田倫範
休憩 10分							
14:35 ~ 16:10	第5会場	海域の環境	武田将英 東亜建設工業(株)	200	佐藤之信	網走川河口における塩水遡上への吹送流の影響評価	佐藤之信 中山恵介 新谷哲也 駒井克昭
				201	丸谷靖幸	コムケ湖における現地観測結果を用いた湖内の流動特性に関する基礎的検討	丸谷靖幸 中山恵介 駒井克昭 渡辺謙太 三好英一 一見和彦 桑江朝比呂
				202	矢北孝一	2005年夏季の有明海における負酸素水域と気象・海象の変動特性	矢北孝一 滝川清 増田龍哉 森本剣太郎
				203	園田吉弘	八代海海域における水質環境特性	園田吉弘 滝川清 川崎信司 青山千春 齋藤孝
				204	田中隆二	閉鎖性内湾における残差流に着目したメッシュ細分化指標の検討	田中隆二 岡崎光平 佐々木淳
				205	田多一史	北海道風連湖における大気-海水間CO2フラックスに影響を及ぼす要因	田多一史 所立樹 渡辺謙太 桑江朝比呂
16:15~16:25 第一会場 閉会挨拶 幹事長							